

The logo consists of the word "SOSHIN" in a bold, sans-serif font, enclosed within a horizontal oval border.

SOSHIN

2022

社会・環境レポート

Save The Earth

双信電機株式会社

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

SOSHIN ELECTRONICS(M)SDN. BHD

事業概要

2022 社会・環境レポート

目次

■ 事業概要

会社概要・事業拠点・財務ハイライト	1
社長メッセージ・コーポレートガバナンス	2
事業領域と関連製品	3

■ 社会性報告

CSR 活動について (SDGs：持続可能な開発目標への対応)	4
人間性の尊重、快適な職場環境の確保	5～6
地域社会との協調・社会貢献活動の推進	7

■ 環境報告

環境マネジメントシステム	8
環境保全活動の概要	9
環境会計	10
物質収支・含有化学物質管理	11
環境負荷低減活動への取り組み	12
省エネの取り組み	13
資源活用の取り組み	14

編集方針

このレポートは双信電機グループの社会・環境にかかわる取り組みを報告しています。

【対象期間】

2021 年 4 月～2022 年 3 月

【対象範囲】

双信電機株式会社
双信デバイス株式会社
双信パワーテック株式会社
立信電子株式会社
双信エレクトロニクスマレーシア

2022 年 9 月発行

■ 会社概要 (2022年3月末現在)

社 名：双信電機株式会社
英文名：SOSHIN ELECTRIC CO.,LTD.
U R L：http://www.soshin.co.jp

本 社 〒105-0023
東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング14F
Tel.03-5730-4500 Fax.03-5730-4504

創 業：1938年（昭和13年）12月
設 立：1944年（昭和19年）4月
資 本 金：42億56百万円（2022年3月末現在）
従業員数：767名（2022年3月末現在）

■ 事業拠点

【本社・営業拠点】

本 社
名古屋営業所 / 大阪営業所 / 九州営業所

【事業拠点】

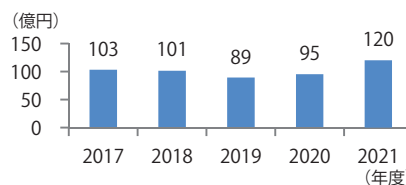
浅間工場、千曲工場

【グループ会社】

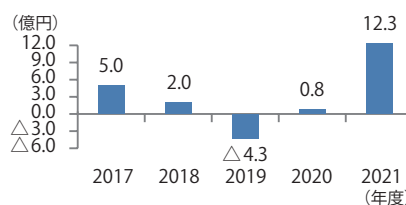
双信デバイス株式会社
双信パワーテック株式会社
立信電子株式会社
双信エレクトロニクスマレーシア
双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ
双信エレクトロニクスヨーロッパ
双信電子（香港）有限公司
双信華科技（深圳）有限公司
台湾双信電機股份有限公司

■ 財務ハイライト

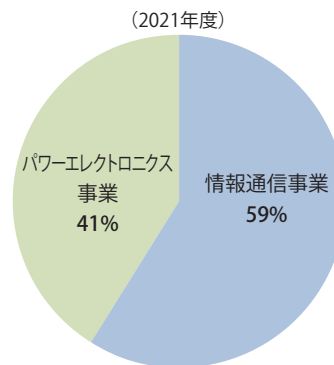
■ 売上高



■ 営業利益



■ セグメント別売上高比率



事業概要

社長メッセージ



代表取締役社長

杉山 雅彦

双信電機は、創業以来 84 年、コンデンサ、フィルタ、回路部品等を市場へ提供してまいりました。これらは、各種の電力インフラや産業機器、個人の端末機器に至る広い分野でご利用いただいております。その歴史を踏まえ、改めて当社の存在目的を定義いたしました。

「ノイズの無い世界を作る」

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて世界が変化していくなか、電気エネルギーの重要性はますます高まり、電気エネルギーの効率的な伝送、利用が求められてまいります。一方で、電気エネルギーの伝送には必ずノイズが伴います。当社の製品やサービスは、このノイズを無くすことに利用されております。今後も当社は「ノイズの無い世界を作る」ためのソリューションを通して、より効率的な電気エネルギー伝送の実現を支え、カーボンニュートラルな世界の構築に貢献してまいります。

また、企業活動自体による社会貢献を進めると共に、ESG 経営への取り組みとして、省電力設備導入の促進、ISO45001 に基づく安全かつ快適な労働環境作り、コンプライアンス順守の徹底等を行い、企業としての社会的な責任を果たしてまいります。

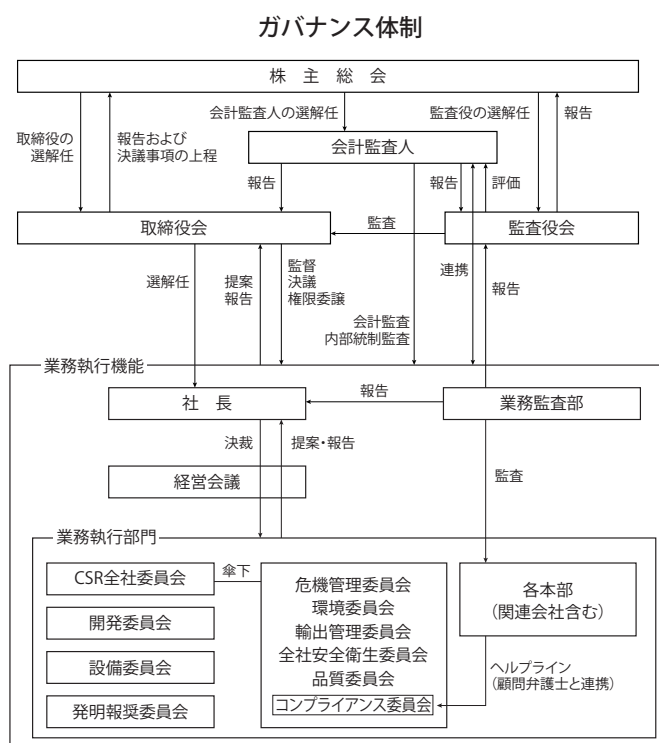
今後もステークホルダーの皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆コーポレートガバナンス

当社グループは、企業価値向上を経営上の重要な課題の一つと位置づけています。

コーポレート・ガバナンスの強化は、事業活動の適法性と経営の透明性を高め、会社に関わる全てのステークホルダー（株主、顧客、従業員、取引先、地域社会等）から信頼される企業となることに繋がり、企業価値を向上する重要な施策と考えています。

その実現に向け、経営組織体制の整備、経営効率の向上、経営監視機能の強化といった取締役会、監査等委員会等の責務を明確にし、法令順守の徹底に努めるとともに、株主の権利、平等性の確保と株主との対話の促進により、相互に信頼できる関係を築きます。



事業概要

事業領域と関連製品

高機能電子部品で社会の発展と人々の暮らしに貢献

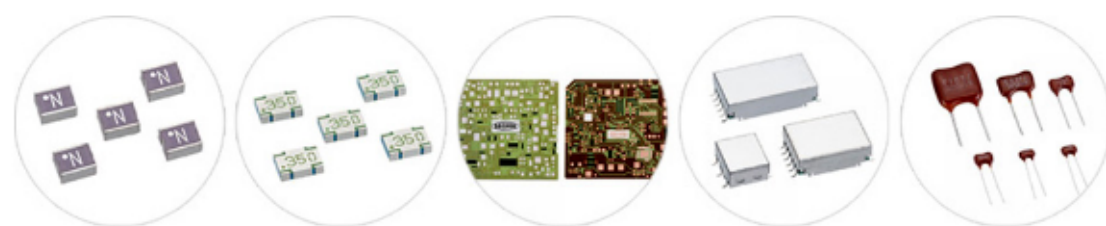
当社は、「材料・プロセス開発技術」「回路設計技術」「設備開発技術」をコア技術として、各種フィルタ、コンデンサなどの電子部品を開発し、パワーエレクトロニクス事業、情報通信事業を中心に、お客様のニーズに合わせたカスタム製品を提供しています。私たちは、これからも時代のニーズとお客様の期待に応える高機能電子部品を供給することで、社会の発展と人々の暮らしに貢献していきます。

◆パワーエレクトロニクス事業



半導体製造装置や工作機械などの産業用機械、医療機器（MRI、CTなど）、鉄道などの市場に、これらの機器から発生する電磁波ノイズ対策用のノイズフィルタ、電源用フィルムコンデンサを開発・製造し販売しています。さまざまな産業機器の省エネに欠かせないインバータなどから発生する電磁波ノイズは、電波障害や機器の誤作動の原因になります。当社は、電磁波ノイズの発生源を特定するノイズ測定・診断を行い、さらにノイズの発生や影響を防ぐノイズフィルタの開発、供給により、お客様の電磁波ノイズ問題を解決する事業を展開しています。また、高電圧電源用フィルムコンデンサもカスタム対応により供給しております。

◆情報通信事業



スマートフォンやパソコンなどに搭載される無線LANやブルートゥース通信モジュール、モバイル機器をつなぐ通信基地局、パソコン市場などに高周波部品の積層誘電体フィルタやカプラ、厚膜印刷基板などを開発・製造し販売しています。また、自動車や鉄道信号市場には実装製品、マイカコンデンサなどを製造し販売しています。主力製品である積層誘電体フィルタは、セラミックメーカーの日本ガイシとの共同開発によるセラミック材料と当社独自のプロセス開発技術と高周波回路設計技術を融合させて開発し、無線LAN新規格のWi-Fi6、第5世代移動通信システム（5G）に対応する新製品など、高機能電子部品を世の中に送り出しています。セラミック厚膜印刷基板は主に車載電装系用途など耐熱性に優れた特性を活かし、お客様のニーズに応える製品を供給しています。

社会性報告

人間性の尊重、快適な職場環境の確保

◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、雇用の安定に努めています。

新卒やキャリア人材の計画的採用を行うと共に、外国人の採用促進など必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、従業員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

◆こころの健康づくり

双信電機グループでは「こころ」のケアを充実させるために産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結して、こころの健康づくりの活動に取り組んでいます。

従業員の健康意識も高まりストレスチェックの受検率はほぼ100%になっております。

また、長時間労働対策に関して、管理職への教育、残業時間の管理、定時間退社日の徹底などを実施しています。

◆個性と多様性の尊重

双信電機グループでは管理職の登用に関し、男女の区別なく、各従業員の能力に基づいて公正に昇進等の処遇を行っております。また、定年退職後の従業員については再雇用制度により、希望者は65歳まで就業が可能です。再雇用時の福利厚生についても改善を実施し働きやすい環境が整っています。障害者雇用については法定雇用率2.3%に対し3.13%（2021年度実績）になっています。

◆ワークライフバランスの実現

多くの従業員が産前産後休暇や育児休暇制度を利用し、仕事と育児の両立を果たしています。また、男性従業員の育児休暇取得も推進しており、2021年度は3名の男性従業員が育児休業を取得しました。

このほか、リフレッシュ休暇制度や計画有給取得制度を活用し、心身のリフレッシュを図れる制度を整えています。また2021年度より有給休暇の時間単位取得制度を導入し、より柔軟な働き方が可能となりました。

◆管理職研修

オンラインでの開催とし、マネジメントに関する教育を行いました。オンラインならではの拠点を越えた意見交換ができました。

◆コンプライアンス強化

2021年度のコンプライアンス意識調査で、従業員より上がりましたコンプライアンス教育充実の声に対応するため、全社員に対し、Webによるコンプライアンス研修、情報セキュリティ研修を行いました。

また、Webによる貿易管理研修を担当者向けに、競争法研修を 営業・調達・製造など、業務に携わる従業員に対し実施しました。

◆人権尊重

職場における差別、ハラスメントなど人権に反する行為の発生を防止し違反行為があった場合には迅速に適切な対応をとります。必要な場合には顧問弁護士を窓口としたヘルプライン制度などの内部通報制度が利用できます。

◆紛争鉱物

人権侵害を引き起こす内戦や紛争に関わる武装勢力の資金源となる恐れのある紛争鉱物（錫、タンタル、タングステン、金の4種鉱物）の原材料は使用しないよう取り組んでいます。またお客様からの要求に応じ、仕入先様への調査を行っています。

● ● ● 社会性報告

6

社会性報告

地域社会との協調、社会貢献活動の推進

◆工場周辺美化活動

国内全拠点で工場周辺のゴミ拾いを実施し、美化活動に貢献しました。



◆アダプトシステム環境美化活動

千曲工場で長野県アダプトシステムより寄贈していただいた花をプランターに植え、工場周辺の歩道に設置しました。



◆ボランティア活動

双信バンドが高齢者施設に演奏活動で訪問しました。



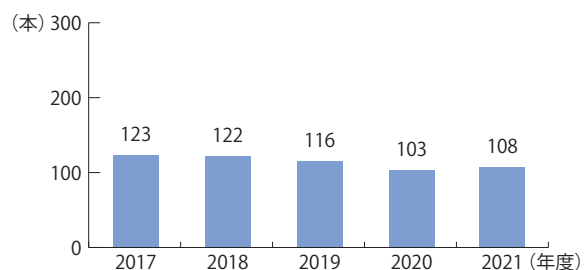
◆あいさつ運動

双信パワーテック所在地の都城市山之口地区の挨拶運動に参加しました。



◆エコキャップ運動

回収したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金し、社会貢献活動にあてられています。2021年度はワクチン換算で108本でした。



◆都城工業高校企業見学

双信パワーテックで地元の工業高校の工場見学を受け入れました。

◆献血への協力

東京本社、浅間工場、千曲工場、双信パワーテックで献血に参加しました。



● ● ● 環境報告

環境報告

環境保全活動の概要

双信電機グループの環境活動は、環境目的とそれを達成するための環境目標を設定し、自主的な環境保全に努めています。

◆2021年度活動報告および2022年度目標

【CO₂排出量】

2021年度の環境負荷低減活動としてのCO₂排出量は、生産増要因により目標未達成になりました。

但し原単位目標82.1t/億円以下に対しては実績で76.3t/億円と目標を達成しております。

2022年度CO₂排出削減の取り組みとして、高効率空調機など省電力設備の変更を実施します。

また再生エネルギー導入の手始めとして各事業所でグリーン電力の購入を検討いたします。

【産業廃棄物排出量】

2021年度の産業廃棄物排出量は、生産増要因により目標未達成でした。

2022年度、原材料の収率向上等をはかり廃棄物排出量の削減を実施していきます。

【含有化学物質の管理強化】

RoHS指令、REACH規則、TSCA規制においても管理対象物質が年々追加されており、製品に使用する物質への制限・管理が厳しくなっています。

双信電機グリーン調達ガイドラインに基づき、最新の規制情報にあわせた管理を実施しています。また、製品構成部材の含有化学物質管理を目的に、仕入先様への環境品質調査を実施し、グリーン調達活動を進めています。

【環境に関する苦情・事故の有無】

2021年度は環境に関する苦情・事故は発生しておりません。2022年度も苦情・事故が発生しないように、環境保全に向けた活動を継続していきます。

◆主な環境保全活動

項目	2021年度実績			2022年度目標
	目標	実績	自己評価	
環境マネジメントシステム (ISO14001)	・環境教育と啓蒙活動を継続します。 ・国内全グループ、環境マネジメントシステム2015年版の運用を確実に 行うと共にISO45001のマネジメント システムとの統合認証を図ります。 ・環境・安全衛生法規制の順守を継続 します。	・環境方針の周知、環境目標などの環境教育 を実施しました。 ・国内全グループ、環境マネジメントシステム 2015年版の運用を確実に 行うと共に、ISO45001のマネジメントシステムとの統 合認証を完了しました。 ・環境法規制は順守継続できました。	○	・環境教育と啓蒙活動を継続します。 ・環境・安全衛生法規制の順守を継続 します。
地球温暖化防止	・国内のCO ₂ 排出量を7,173t以下に します。(CO ₂ 原単位排出量を82.1t/億 円以下にします。)	・国内のCO ₂ 排出量は、目標値7,173tに 対し、7,418tであり、目標値を達成する 事ができませんでした。(CO ₂ 原単位排出 量については、生産量の変動に伴い、76.3t/ 億円と目標を達成しました。)	△	・国内のCO ₂ 排出量を8,503t以下に します。(CO ₂ 原単位排出量を75.4t/ 億円以下にします。) ・中期的な温室効果ガス削減計画を 立案します。
廃棄物管理活動	・廃棄物排出量を224.4t以下に します。(原単位排出量を2.6t/億円に します)	・廃棄物排出量は、目標224.4tに対し、255.9t であり、達成する事ができませんでした。 (原単位排出量は2.63t/億円未達成、ゼ ロエミッションは継続しています。)	×	・廃棄物排出量を284.4t以下に します。(生産増により排出量が増加 しますが原単位排出量は前年度実績 の2.63t/億円に対し2.5t/億円を目標 にします。またゼロエミッションを 継続します。)
化学物質の適正管理	・蛍光X線分析装置により、海外調達 品の受入検査を継続します。 ・双信電機グリーン調達ガイドライン を改訂します。 ・仕入先環境品質調査を実施し、グリーン 調達ガイドラインを順守します。	・検査対象の受入部材の検査を実施し、異 常は発生していません。 ・双信電機グリーン調達ガイドライン第8版 を発行し仕入先様に配信しました。 ・仕入先環境品質調査を計画通り実施し、 グリーン調達を推進しました。	○	・蛍光X線分析装置により、海外調 達品の受入検査を継続します。 ・双信電機グリーン調達ガイドラインは 法規制、得意先要求で変更のある化 学物質について管理物質リストの見 直しを行い仕入先様に周知します。 ・仕入先環境品質調査を実施し、グリーン 調達ガイドラインを順守します。
有害化学物質の削減	・RoHS指令の動向注視と材質の変更 を推進します。 ・PCB含有機器の調査継続と、適正な 手続を実施し、期限までに処分 を実施します。	・RoHS指令の適応除外期限切れ物質につ いて指令の注視と材質の変更を推進 しました。 ・高濃度PCB含有機器の廃棄処理を完了 しました。	○	・RoHS指令の適応除外期限切れ物 質について指令の注視と材質の変 更を継続します。 ・低濃度PCB含有機器を全て廃棄処 理完了予定です。

環境報告

環境会計

◆環境保全コスト、環境保全対策にともなう経済効果

双信電機グループは、環境保全の為に支出した金額と、その改善効果を定量的に把握するため、環境会計を実施しています。

双信電機グループにおける2021年度環境保全コストにおいて、高効率空調機、コンプレッサー、業務用複合機などの省電力型設備への入替えを行い、計9,691万円を支出しました。改善効果は2022年度以降、確認いたします。

環境保全活動の費用は、計1,723万円と2021年度より240万円の減額となりました。

2022年度は高効率空調機、全拠点LED照明の入替え完了を予定しています。

実績集計：2021年度 ※環境省環境会計ガイドラインに沿って作成しております。

(万円)

分 類	内 容	環境保全コスト				経済効果	
		投資額		費用額			
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
公 害 防 止	公害防止のために必要なコスト	0	0	304	188	—	—
地 球 環 境 保 全	省エネ設備導入等 CO ₂ 削減のために必要なコスト	3,188	9,691	115	181	200	49
資 源 循 環	節水等資源効率利用、廃棄物の削減・リサイクル・処理・処分するために必要なコスト	0	0	977	1,043	—	—
上 ・ 下 流	事業活動に伴う上流下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	0	0	0	0	—	—
管 理 活 動	ISO14001 認証取得・維持、環境教育、環境負荷の監視測定等環境保全に必要なコスト	0	0	480	280	—	—
研 究 開 発	環境負荷削減の研究開発・企画設計、環境保全に資する製品開発・研究に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
社 会 活 動	自然保護、緑化、地域の環境支援、環境情報の公表、環境広告に必要なコスト	0	0	87	31	—	—
環 境 損 傷	土壌汚染による改良、自然破壊修復等に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
合 計		3,188	9,691	1,963	1,723	200	49

環境報告

物質収支（インプット・アウトプット）

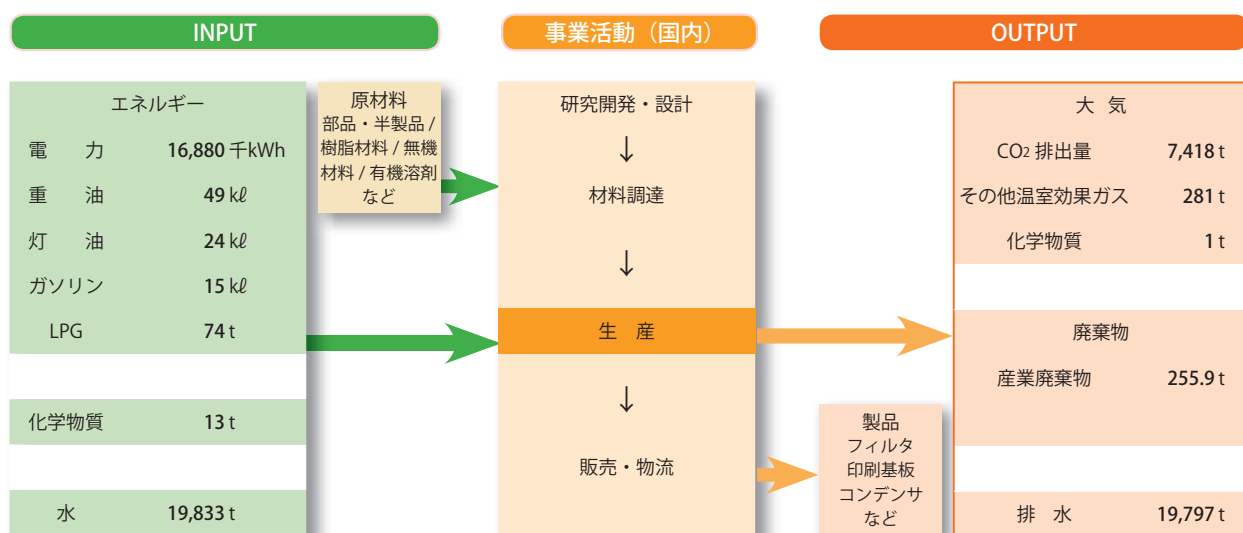
双信電機グループの国内における事業活動に関して、2021年度でインプットされた資源・エネルギーと生産された製品、廃棄物及びその他の排出物（アウトプット）を示します。

◆インプット・アウトプットの概要

インプットは、事業活動に必要な部品、原材料、エネルギー、化学物質、水などによって構成されます。

アウトプットとしては、製品生産活動にともなうCO₂排出、排水、廃棄物などがあります。

双信電機グループでは製品以外のアウトプットを削減するため、省エネ活動や原材料の収率改善によりインプットを極力削減する活動を行っています。



含有化学物質管理

◆含有化学物質調査

お客様からの製品含有化学物質調査依頼に対し、迅速に対応できるように、また、ライフサイクルの視点で部品選定の段階から禁止物質非含有品の採用に取り組んでいます。

◆蛍光X線分析

禁止物質を含有する恐れのある部品・材料については、入荷時蛍光X線分析装置によるスクリーニング検査を実施し、非含有であることを確認しています。

◆グリーン調達

環境負荷の少ない部品・材料の調達を進めており、仕入先様への環境品質調査を実施し、化学物質管理に問題が無いことを確認しています。「双信電機グループグリーン調達ガイドライン」に基づいて、仕入先様に積極的な取り組みのご協力をお願いしています。

環境報告

環境負荷低減活動への取り組み

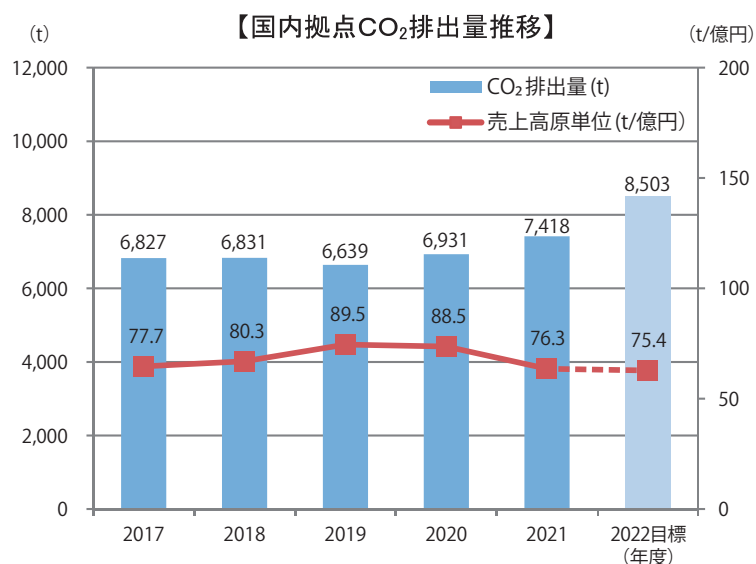
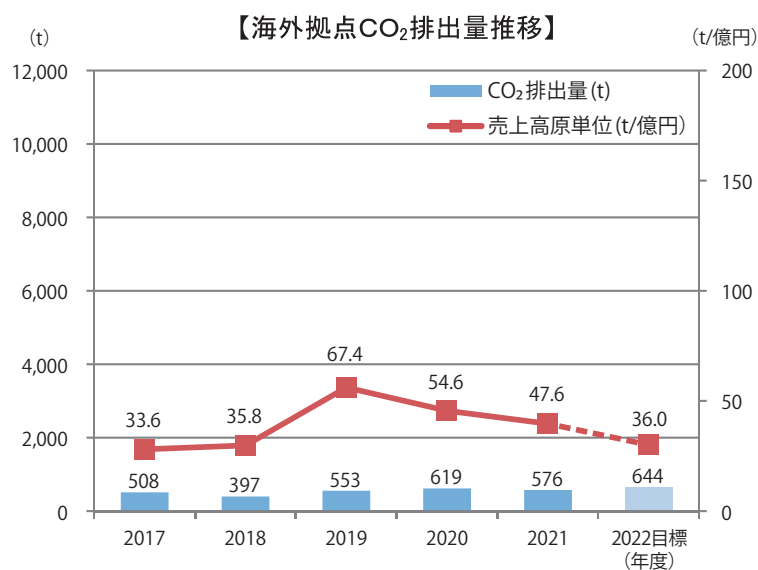
地球温暖化防止への対応として、老朽化設備の入替え、LED照明導入等、CO₂排出量削減に取り組んでいます。

2021年度の国内のCO₂排出量は、ノイズ関連部品・厚膜印刷基板などの売上回復により、7,418t、売上高原単位は、76.3t／億円となりました。

2021年度の海外拠点でのCO₂排出量は576t、売上高原単位は、47.6t／億円となりました。

2022年度の国内拠点でのCO₂排出量は8,503t以下（売上高原単位75.4t／億円）を目標にします。

◆CO₂排出量



環境報告

省エネの取り組み

◆双信デバイス エネルギー指定管理工場の省エネ取り組み

工場・事業場における省エネ法定期報告に基づく事業者クラス分け評価の結果は経済産業省資源エネルギー庁より2019年評価結果からS評価を受けています。今後も引き続き削減活動を続けてまいります。



◆再生エネルギー導入の取り組み

浅間工場では2006年から太陽光発電システムを導入していますが、更なる取り組みとして2022年度は各事業拠点でグリーン電力の購入を検討いたします。



◆高効率空調機の導入

2021年度は千曲工場でGHP（ガスヒートポンプエアコン）などの高効率空調機に入替えを行いました。2017年度から全拠点で計画的に高効率空調機への入替えを実施しており、2022年度完了の予定です。



環境報告

資源活用の取り組み

◆廃棄物処理

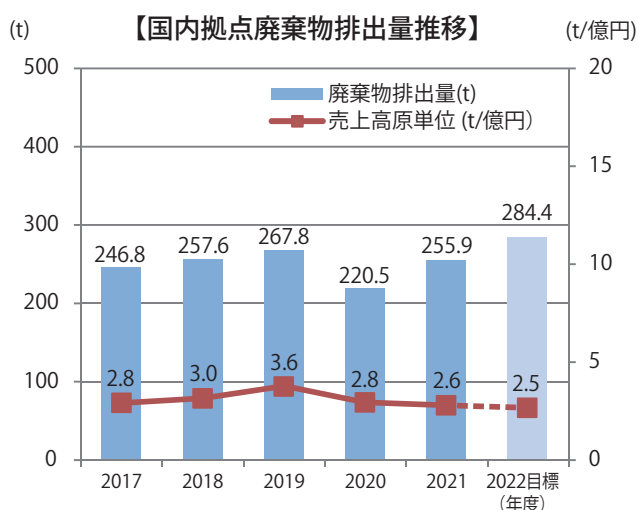
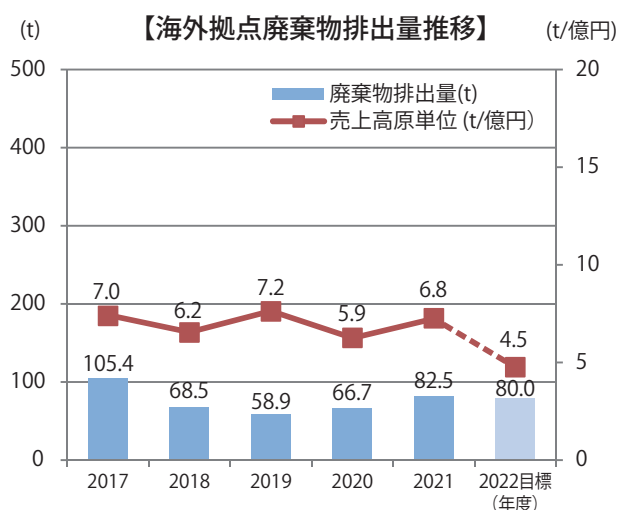
双信電機グループは、環境保全のため、循環型社会の形成を重要視しています。グループ内の事業活動で排出される廃棄物を資源として捉え、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。

2021年度総排出量255.9tに対し、リユースが135.2t、リサイクルが120.8t、最終埋立量が0tでゼロエミッションを達成しています。（原単位排出量2.63t／億円）

2022年度は総排出量284.4t以下（原単位排出量2.5t／億円以下）を目指します。

法に基づいた処理が適正に行われるように、行政に認可を受けた廃棄物処理業者とのみ委託契約を結び、電子マニフェスト（廃棄物管理表）での運用、処理記録を残しています。

◆廃棄物排出量



◆廃棄物処理業者・有価物業者については、処理保管現場の定期的現地視察を行い、処理に問題が無いことを確認しています。また、コロナ禍により現地視察ができない場合、リモート監査、書類監査を実施いたしました。



委託業託業者現地視察



2022 社会・環境レポート



双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.
URL : <http://www.soshin.co.jp>

お問い合わせ先
環境管理部
〒385-0011長野県佐久市猿久保664-1
TEL0267-67-4580

本レポートに対するご意見・ご感想をお寄せください。
E-mail: environment@soshin.co.jp